

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2007-301257(P2007-301257A)

【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2006-134587(P2006-134587)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成され、当該遊技領域に向けて遊技媒体が打ち込まれる遊技盤と、

前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技媒体を受け入れ可能な始動口と、

所定の遊技態様を導出する遊技態様導出手段と、

遊技領域に向けて打ち込まれた遊技媒体が前記始動口に受け入れられたことを検出する始動検出手段、

前記始動検出手段による遊技媒体の検出に応じて少なくとも大当たりに当選したか否かの判定を行う抽選手段、

前記遊技態様導出手段において所定の遊技態様で導出を行い、前記抽選手段による抽選結果を導出する遊技態様導出制御手段、

前記遊技態様導出制御手段によって前記遊技態様導出手段に導出する複数の遊技態様を記憶すると共に、当該複数の遊技態様のうち少なくとも一つの遊技態様としてリーチ遊技態様を記憶する遊技態様記憶手段、および

前記抽選手段による抽選において当選したことに応じて大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、を少なくとも有する遊技制御手段と

を備え、

前記大当たり遊技実行手段は、

前記抽選手段による抽選において当選した当たりが長当たりであるときに、遊技者に大量の遊技媒体の払い出しが可能となる長当たり遊技を実行する長当たり遊技実行手段と、

前記抽選手段による抽選において当選した当たりが短当たりであるときに、前記長当たり遊技よりも遊技者に払い出される遊技媒体が少量となる短当たり遊技を実行する短当たり遊技実行手段と

を有しており、

前記リーチ遊技態様は、

複数の図柄の変動表示が行われると共に所定の効果音が出力される全図柄変動期間と、

前記全図柄変動期間を経たのちに表示されると共に、所定の楽曲の特定部分を含む特定楽音が出力されるリーチ変動期間と

から少なくとも構成されていると共に、

前記リーチ遊技態様には、期低リーチ遊技態様と期高リーチ遊技態様とが含まれております。

前記期低リーチ遊技態様は、前記抽選手段による抽選において当選している期待値が前記期高リーチ遊技態様よりも相対的に低いリーチ遊技態様であり、

前記期高リーチ遊技態様は、前記リーチ変動期間における表示態様が前記期低リーチ遊技態様のリーチ変動期間における表示態様と異なると共に、前記抽選手段による抽選において当選している期待値が前記期低リーチ遊技態様よりも相対的に高いリーチ遊技態様であり、

前記遊技態様導出制御手段は、

前記抽選手段による抽選結果に基づいて前記遊技態様記憶手段に記憶される遊技態様のうちいづれかの遊技態様を前記遊技態様導出手段に導出するものであって、

特定条件の成立に応じて、前記全図柄変動期間における前記所定の効果音に代えて前記リーチ変動期間に出力される前記特定楽音と同一の楽曲であって且つ当該特定楽音とは異なる部分を含む一般楽音を出力すると共に、

当該全図柄変動期間を経たのちにリーチ変動期間に至る場合には前記期高リーチ遊技態様を導出し、

当該全図柄変動期間を経たのちにリーチ変動期間に至らない場合には前記抽選手段による抽選において当選している期待値が低く且つ前記リーチ遊技態様とは異なる遊技態様を導出可能である

ことを特徴とする遊技機。

#### 【請求項2】

前記遊技態様導出制御手段は、前記特定条件が成立したとき、前記全図柄変動期間を経たのちにリーチ変動期間に至らなかった場合であっても、前記抽選手段による抽選において短当たりに当選した場合には短当たりに当選したことを示す態様を導出する

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

#### 【請求項3】

前記リーチ変動期間において出力される特定楽音は、当該所定の楽曲の主要部のフレーズを含む楽音であって、

前記全図柄変動期間において所定の効果音に代えて出力される一般楽音は、前記所定の楽曲の導入にかかるフレーズを含む楽音である

ことを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機。